

2024

1

No.332

「だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現」をめざして

いばらきの 社会福祉

Social Welfare of IBARAKI

ふくし“きらい人。”
任命しました！



ふくし“きらい人。” 中川 章太郎 さん

Contents

- 2 会長新年挨拶
第28回茨城県健康福祉祭
「いばらきねりんスポーツ大会」
を開催しました
- 3 第35回
全国健康福祉祭笑顔のえひめ大会
～ねりんピックえひめ2023～
- 4 5 地域福祉活動レポート
天台宗茨城教区仏教青年会
- 6 7 ふくし“きらい人。”
中川 章太郎 さん

- 8 第73回茨城県社会福祉大会を開催しました
福祉のお仕事に興味のある方は
茨城県福祉人材センターへ
- 9 茨城県福祉人材センターを通じて就職した方
の声
福祉サービスを利用している方へのお知らせ
令和5年度福祉サービス苦情解決研修会開催
のお知らせ
- 10 社会福祉事業従事者研修のご案内
- 11 インフォメーション
- 12 わかち合おうみんなの善意



はんどちゃんを紹介

はんどちゃんは、「福祉コミュニティづくり県民運動」のキャラクターとして茨城県社会福祉協議会、茨城県内の市町村社会福祉協議会を中心に活躍しています。



社会福祉
法 人

ふれあいネットワーク

茨城県社会福祉協議会



新年挨拶



会長 竹之内 章代



新年明けましておめでとうございます。日頃より、茨城県社会福祉協議会の活動に深いご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス下での制限された生活から、少しずつ日常を取り戻し始めました。しかし、感染症対策下でこれまで培ってきた人と人とのつながりは変化し、以前のあり方とは異なってきています。私たち県社会福祉協議会は、これまで人びとの暮らしを支え・支え合う関係を地域の住民とともに築いてきました。これまで構築してきたつながりや地域の仕組みを活用して、よりよい地域づくりに更に邁進していきたいと思っております。

また、現在の複雑化・多様化する地域生活課題等に対応していくためには、少子高齢化が進むなか、いかに質の高い福祉人材を確保するかが、喫緊の課題の一つであります。これらの課題の解決は、私たちだけでは到底なしえることはできません。市町村の社会福祉協議会や地域の皆様、関係機関の皆様、県をはじめ行政の方々との有機的な連携と支援のもとで、解決していくことができるものと考えております。そして、これらの活動を通じ、茨城県総合計画の基本理念である「活力があり、県民が日本一幸せな県」となり、「いばらき幸福度指標」による総合順位のアップが実現できると思います。今後も、県民の皆様が安心して暮らせるよう、福祉課題や、地域生活課題の解決に皆様方との連携・協力のもと、取り組んでまいります。今後とも、皆様方の力強いご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。この一年が、皆様方にとって、素晴らしいものとなるようご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

第28回茨城県健康福祉祭「いばらきねんりんスポーツ大会」を開催しました

市町村代表者による高齢者のスポーツの祭典「いばらきねんりんスポーツ大会」を、10月3日（火）笠松運動公園（ひたちなか市）で開催しました。

各市町村から選ばれた選手や市町村社協職員、来賓等約1,100人の参加を得て、クロッケー、ゲートボール、ペタンク、グラウンド・ゴルフ、ワナゲの5種目を実施しました。

当日は、天気も良く、熱い戦いが繰り広げられ、各市町村の選手交流も図ることができました。

なお、大会結果は下表のとおりです。

競技種目	優勝	準優勝	第3位	敢闘賞
クロッケー	おみたまにじいるクラブ (小美玉市)	鹿白会 (那珂市)	磯野長生会 (城里町)	北田気千歳会 (大子町)
ゲートボール	小美玉クラブ (小美玉市)	あずま (土浦市)	取手クラブ (取手市)	緑ヶ丘 (東海村)
ペタンク	内宿1区寿会 (東海村)	中根ときわ会C (ひたちなか市)	美園南ふれあい クラブ・游友 (守谷市)	関本第一睦会 (北茨城市)
ワナゲ	北浦シニアクラブ (小美玉市)	七福会 (ひたちなか市)	茶屋町寿会 (古河市)	八千代 (八千代町)
グラウンド・ ゴルフ	優勝 田山 義男 (鹿嶋市)	準優勝 照沼 義美 (ひたちなか市)	第3位 篠崎 俊一 (行方市)	第4位 増尾 信子 (美浦村)
	第5位 益子 茂 (常陸大宮市)	第6位 埜口 仁 (つくば市)		

「ねんりんピックはばたけ鳥取2024（令和6年10月19日～22日）」への派遣

ゲートボール、ペタンク、グラウンド・ゴルフについては、太枠で囲んだ団体および選手を派遣することに決定しました。



開会式



グラウンド・ゴルフ



ゲートボール

第35回全国健康福祉祭笑顔のえひめ大会～ねんりんピックえひめ2023～ 茨城県のシニア代表146名 えひめの地で大健闘！

全国健康福祉祭（愛称：ねんりんピック）は、昭和63年から開催されている60歳以上のシニアが出場する全国大会です。

今年は、愛媛県内20市町で交流大会・イベントが開催され、令和5年10月28日（土）から同月31日（火）までの開催期間中、延べ約50万人が参加、交流大会では25種目で熱戦が繰り広げられました。

茨城県からは、各種目団体から推薦を受けた選手・監督146名（19チーム17種目）の選手団が出場、29日から始まった交流大会では、えひめの地で全国の仲間と交流を深めるとともに、どの種目においても大健闘をいたしました。

その中でも、団体で見事ブロック優勝の栄冠を得たのが、サッカーの「ドリーム水戸シニアFC」です。また、剣道茨城県チームとソフトバレーボール「飛影」チームが第3位となりました。

個人では、水泳の中村勝弥選手が平泳ぎ25m、50mでそれぞれ第2位、神谷幸夫選手が自由形で第2位、牛塚誠司選手が平泳ぎで第3位、健康マージャン個人戦で石井賢司選手が第3位と活躍されました。

そのほかの競技につきましても、団体の優秀賞、個人の最高齢者賞、高齢者賞、特別賞を得るなど、本県選手団は今年も輝かしい成績を収められました。

なお、次回は、鳥取県において「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」が令和6年10月19日（土）から22日（火）にかけて開催される予定です。茨城県選手団の皆様が鳥取県の各地で、全国の皆様と友好を深め、大いに活躍されることを期待しています。



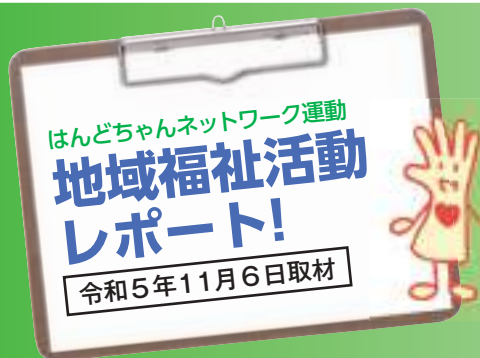
入場行進：旗手選手を含め20名の茨城県代表選手が行進を行いました



優勝をしたサッカーチームの選手の皆さん



健闘した茨城選手団



天台宗茨城教区仏教青年会

会長 大林正俊さん 天台宗歓喜寺住職

「お供物でつながるご縁で、一隅を照らす」

天台宗茨城教区の青年僧が活動

天台宗茨城教区仏教青年会は1964年に発足し、2024年に創立60周年を迎えます。会員は天台宗の僧籍を持つ45歳以下の青年僧で、37人が活動しており、法要研修・運営広報・災害救援の3つの部があります。

また、仏教の基本的な教えやお経、特別な法要の研修会を開催し、僧侶としての研鑽を積んでいます。今年度の会長は八千代町にある天台宗歓喜寺住職の大林正俊さんです。



▲天台宗茨城教区仏教青年会 大林会長

お供物で地域の人と人をつなぐ支援活動

仏教青年会は「生活に不安を抱えて家庭や施設で過ごされている方々が、少しでも心穏やかに安心して暮らせる社会の実現のため」という目的で、県社協にお供物の寄贈をいただいています。寄贈の始まりは、前会長瀧川真照さんの活動からです。「コロナ禍で人数制限があるため、みんなで集まって研修をするなどの活動ができませんでした。前会長は何かできることはないかと、個人的に県社協にお寺のお供物を届けていました。それを仏教青年会として行い、お供物を集めてコロナ禍で困窮している方々を支援しようとなりました。各寺院のお供物をそれぞれ持ち寄るだけなので、密にもならずできる活動で取り組みやすかったのです」と大林さん。

「初回は仏教青年会の会員の寺院だけで

したが、2回目からは茨城教区の天台宗寺院全てに声をかけて行いました。お供物は、米、菓子類、調味料類、日本酒など様々で、賞味期限が2か月以上あることを確認して持ち寄っています。日本酒は子ども食堂などの調味料として使えることから、今年度から寄贈を始めました。」と話されました。集まったお供物は県社協から、市町村



▲贈呈式の様子

社会福祉協議会に届き、施設や子ども食堂、生活に困窮している方に贈られます。

特別な存在ではなく拠り所になりたい

活動を通して印象に残っていることは、「最初に八千代町社会福祉協議会に寄贈した時に、3日間食事をしていない方がいるということを聞いて驚きました。私たち僧侶は困っている人に手を差し伸べて苦しみを和らげる役割があるのに、それができなかったことを申し訳なく思いました。日々の生活が大変な方がいらっしゃることを、活動を通じて教えてもらいました。お供物が届くことで、少しでも安心してもらいたいです」と話されました。

お寺はもともと地域との関わりが深く、地域の人々を見守ってきた存在です。「昔はお寺が、現在の社会福祉協議会さんのような役割を果たしてきました。地域の中で特別なものではなく、何かあった時に相談してもらえる拠り所でありたいです。天台宗には困っている人を進んで助けに行くという教えがあります。檀家さんからいただいたお供物で、困っている人が一人でも安心できるように取り組んでいます。お供物でつながるご縁で、誰かが安らかで安心した生活のための食料を受け取れることは、ご本尊様も願っていることであり、お供えしてくださった檀家さんもお先祖の供養に繋がりますので、その懸け橋として活動をさせていただいていることはありがたいです」と大林さん。

水害等の災害救援ボランティアでも活躍

仏教青年会では、災害救援活動も行っています。最初の活動は2011年の東日本大震災の時で、2012年5月のつくば市北条

での竜巻災害、2015年9月に関東・東北豪雨で鬼怒川の堤防が決壊した常総水害の際にも現地でボランティア活動をし、災害救援部を立ち上げました。常総水害の際には、関東圏の仏教青年会会員が手伝いに来て下さいました。今年度は取手市、高萩市の水害時に活動しています。災害ボランティアセンターを通して、仏教青年会で希望者を募って参加します。「災害時の支援物資の貯蔵もしています。ブルーシート、簡易トイレ、ビニール袋などを茨城教区の宗務所の倉庫にストックし、災害の際に物資を送ります。最近では石川県の奥能登地震の時に物資を送りました。今後も社会福祉協議会と協力し、お供物の寄贈や災害ボランティア活動等の支援を継続し、地域社会との関わりを深め、天台僧の青年会として広く困っている方々や地域との関わりを深めていきたい」とのことです。「仏教青年会の活動の中心にあるのは天台宗の開祖、最澄の言葉で「一隅を照らす」です。一人ひとりが自分のいる場所で、自らが灯^{とも}となり周りを照らしていくことこそ、私たちの本来の役割で、皆で手をつなぎ明るく照らせば光り輝く世の中がつけられるという意味があります。」と、話して下さいました。光の届きにくい部分を照らす活動は、これからも続けられます。



▲大林様、貴重なお話をありがとうございました。

ふくしまっぴい。



なかがわ しょう た ろう

中川 章太郎さん社会福祉法人 芳香会
青嵐荘特別養護老人ホーム 介護職

結城市にある青嵐荘特別養護老人ホームは、身体や心に障害があるために普段から介護を必要とし、自宅において介護を受けることが難しい高齢者やその家族に安心と安全を提供する施設です。中川章太郎さんは、勤務して今年で12年目になります。新潟経営大学を卒業後、1年間バックパッカーとして世界中を旅し、帰国後は6年間浅草で人力車の車夫として働いていました。結婚を機に地元茨城での転職を考え、福祉の仕事にたどり着きました。「介護の仕事と人力車の仕事は、人と接すること、人を喜ばせることが共通しています」と中川さん。小学生の頃から大学卒業までサッカーを続け、体を動かす仕事を望んでいたことから福祉の仕事に着目し、福祉の仕事の説明会に参加しました。その時に最初に話を聞いたのが、現在の職場で、担当者と話をしているうちに「やってみよう」と思ったとのこと。

御利用者の希望を叶えられた時、やりがいを感じる

現在の職種は介護職で、御利用者の身体介護を主に担当しています。「排泄介助やおむつ交換は、自分には無理かと思っていましたが、意外と早く慣れました。全く別の世界から介護の現場に入ったので、変な先入観がなかったのも良かったかもしれません」。12年間で介護福祉士、社会福祉士、ケアマネジャーの資格を取得し、着実にスキルアップしている中川さんですが、「現場がやはり好き」ということです。やりがいを感じるのは、「御利用者の希望を叶えられた時です。寝たきりで入居した方が、『自分でトイレに行きたい』と言った希望を、どうすれば実現できるのか、看護師や理学療法士と協力してリハビリを進め、最終的にト

福祉の仕事は、人を喜ばせる仕事。



イレに行けた時には、良かったなと思います。自宅にお線香をあげに行きたいという希望を持つ人がいれば、どうすればできるのか科学的根拠を持って考え、願いを叶えることがやりがいです。日常のケアだけでなく、御利用者の希望を叶えるために頑張ることが自分たちのやりがいになり、それがお年寄りの生きがいにもなっています」と話します。

福祉と人力車をミックスさせて可能性を広げたい



中川さんには、印象に残る御利用者がいます。「施設のお祭りで人力車を出した時に、100歳の方がひ孫さんと一緒に乗って、『一生のいい思い出になった』と言ってくれたのです。少しして亡くなりましたが、御家族からも『あの時の写真は一生の思い出になりました』と言われました。好きな人力車と介護をミックスできたので、とても印象に残っています」とのこと。自分の人力車を持つ中川さんの今後の目標は、施設に人力車部門を立ち上げること。「レクリエーションや、施設のイベントの際に活用し、地域の人参加してくれることにより、沢山の交流が生まれていきます。自分の中で人力車の存在は大きいので、人力車を福祉の仕事と関わらせていきたいと考えています」と抱負を語ります。

福祉の仕事は、前向きな考えを持つ人

福祉の仕事に向いているのはどのような人かとずねると、「どの仕事でもそうだと思うのですが、前向きな考えを持っている人が絶対にいいです。見た目は明るくても暗くてもいいですが、気持ちが前向きな人。相手は人間なので、いろいろな要望がありますが、それに向きあえる人がいい。ご



飯を食べていてこぼしてしまったら、『なんでこぼしちゃったの』と言うより、『ここまでできるようになったんだね』という発想を持つことが大切です。どんな人でも、福祉の仕事に就いて前向きになってくれればいいですね。』と答えてくれました。

まずは、踏み出せば道ができます

福祉の仕事に就くか悩んでいる人へのメッセージは、「福祉はよくわからない世界だと思っているでしょうが、怖がることはありません。私はアントニオ猪木さんの引退スピーチが大好きで、迷った時にはそれを思い出します。迷ったら行ったほうがいい、踏み出したら道ができる、という様な内容です。だから、だめだったらやめてもいいから、まずはやってみよう」とのことです。全く違う世界から福祉の道に進み、走り続けるさらい人です。



第73回茨城県社会福祉大会を開催しました

10月26日、茨城県・茨城県社会福祉協議会・茨城県共同募金会の主催により、ザ・ヒロサワ・シティ会館において、「第73回茨城県社会福祉大会」を開催しました。

今年は、茨城県の社会福祉の向上発展に御功績のあった、806名の個人・団体の皆様が、県知事表彰、県社会福祉協議会会長表彰・感謝、県共同募金会会長表彰を受賞されました。

式典では、大会名誉会長・大井川県知事、大会会長・竹之内県社協会長、大会副会長・岩上県共募会長から、受賞者代表11名に賞状が授与されました。

また、来賓として、茨城県議会の村上副議長、開催地である水戸市の高橋市長に御出席いただき、祝辞を頂戴いたしました。



水戸市役所・水戸市社協・福祉施設職員の皆様による大会宣言



大会会長・竹之内県社協会長から
表賞状を手渡される受賞者

オープニングアトラクションでは、水戸市で活躍されている、NPO法人ポルターモの皆様による演奏を御披露いただきました。「語りと音楽でつむぐコンサート」と題して、東日本大震災からの復興への思いを、フルートやピアノによる演奏、歌、語りを、映像とともに御披露いただき、心に響くとても素晴らしい内容でした。

また、大会の最後には、次世代の福祉を担う若手職員3名が、力強く大会宣言を読み上げ、会場を盛り上げていただきました。

受賞者の皆様の御功績と御努力をたたえますとともに、今後ますますの御活躍をお祈りいたします。

福祉のお仕事に興味のある方は茨城県福祉人材センターへ

茨城県福祉人材センターは、県の委託を受けて設置され、福祉のお仕事をする方を応援しています。

福祉の仕事（介護・保育など）を希望されている方と人材を求める社会福祉施設、事業所等への架け橋となるとともに、福祉についての情報提供や就職のあっせんを無料で行っています。

無資格・未経験でも御紹介できる仕事があります。福祉の仕事が初めての方でも、キャリア支援専門員が、丁寧に支援いたします。また、職場見学や職場体験も実施しています。

福祉の仕事に興味のある方は、ぜひ茨城県福祉人材センターにお気軽に御相談ください。

相談する

受付時間 午前 9:00～12:00 午後 13:00～17:00
(土・日・祝日及び12/29～1/3を除く)

3来所

●場所 / 茨城県水戸市千波町1918
セキショウ・ウェルビー
イング福祉会館2階

1 オンライン相談

●相談時間 / 40分間

●時間帯 /

相談時間は次の時間帯からお選びください。

10:00～10:40	11:00～11:40	13:00～13:40
14:00～14:40	15:00～15:40	

●申込方法 /

本会ホームページ(右記QRコード)にアクセス後、申込フォームに必要事項を入力し、予約をお願いします。

2 電話相談

●電話番号 / 029-244-4544



▲オンライン相談
申込QRコード

WEBで求人検索をする

「福祉のお仕事」ホームページ(下記QRコード)で求職登録や、求人情報の検索ができます。

登録いただいた方には、希望にあった求人情報をご提供します。登録、利用は無料です。



「福祉のお仕事」ホームページ



▲「福祉のお仕事」
QRコード

茨城福祉人材センターを通じて就職した方の声

茨城県福祉人材センターでは、本センターを通じて就職された方の施設・事業所等を訪問して、職場での定着支援を行っています。

今回、訪問時に「人材センターを利用しての感想」を伺いましたので、御紹介いたします。

福祉専攻の学校でもなく、資格を持っていなかった私でも、懸命に職場を探して候補を挙げてくれたのが励みになりました。

地域支援センター 社会復帰指導員

福祉人材センターのキャリア支援専門員の方に色々なアドバイスをいただいた。とても感謝しています。

社会福祉協議会 事務職

福祉の職場に勤めている友人から福祉人材センターを紹介してもらった。

自分のペースに合わせて、就職活動することができたことが良かった。

就労・自立訓練事業所 相談支援指導員

職種等、自分の求めている仕事を絞って求人を紹介してくださったので、就職活動をするにあたって色々比較することができて良かった。

介護老人保健施設 相談支援員

大学在学中に大学から福祉人材センターを教えてもらった。

自分に代わって、事業所と連絡調整をしていただき助かりました。

保育園 保育士

就職活動の支援が手厚くて安心感がある。是非、学生の皆さんも活用すべきだと思います。

障害者支援施設 生活介護支援員

福祉サービスを利用している方へのお知らせ

福祉サービスを利用して困ったことや悩んでいることはありませんか？そんなときは、まずサービスを利用している事業所の相談窓口にご相談ください。事業所では、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員が苦情への対応をしています。

事業所で解決できない時や直接言いにくい時は、茨城県運営適正化委員会に御相談ください。事務局で御相談を受け付け、解決に向けたお手伝いをします。

■ 利用できる方

福祉サービスを利用している御本人や御家族、代理人など

■ 相談の対象

子ども、障がい者、高齢者などを対象とした、施設や在宅での福祉サービス全般に関する苦情

※ 社会福祉法第2条に規定する社会福祉事業において提供されるサービスが対象です。

※ 介護保険サービスに関する苦情は、基本的に市町村の介護保険担当窓口や国民健康保険団体連合会で受け付けています。

■ 相談受付

まず、運営適正化委員会の職員が相談を受け付けます。相談内容に応じて、弁護士、医師、社会福祉士、大学教授などの専門家が助言等を行います。

■ 相談方法

直接来所（事前予約が必要）されるか、電話、Eメール、手紙等で御相談を受け付けています。相談は無料で、秘密は厳守いたします。

また、匿名の御相談もお受けしますが、事業所に事情を聞くことが難しくなるので、話し合いによる解決は困難となることがあります。

■ 相談を受ける時間

月～金曜日 午前9時～午後5時

《土・日曜日、祝日、

年末年始（12月29日～1月3日）を除く》

問 茨城県運営適正化委員会

TEL:029-305-7193

Eメール: tekisei@ibaraki-welfare.or.jp

令和5年度 福祉サービス苦情解決研修会開催のお知らせ

茨城県運営適正化委員会では、福祉サービスを提供する事業所が利用者等からの苦情に適切に対応するため、苦情解決の在り方についての研鑽を深め、福祉サービスの向上に寄与することを目的として研修会を開催します。

研修会の詳細や参加申込方法につきましては、本会ホームページを御覧ください。皆様の御参加をお待ちしております。

1 日時 令和6年2月29日（木）

13時30分～15時30分（予定）

2 会場 ザ・ヒロサワ・シティ会館 小ホール

3 対象者 福祉サービス事業所の苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員、役職員、相談援助に関わる職員 等

4 定員 300名（定員になり次第、締め切らせていただきます。）

5 参加費 無料



▲ホームページ
QRコード

問 福祉事業部

TEL:029-244-3147

広告

社会人向け
通信教育で“働きながら”
保育士を目指そう!!

筑波研究学園専門学校こども未来学科の社会人向け保育士通信教育課程で保育士になる夢を叶えませんか？面接授業は同校にて休日開催、担当教員による学習サポート、3年課程ならではの実習カリキュラムで社会人でも無理なく卒業と同時に保育士資格が取得できます。出願期間は10/1日（日）から、フリーダイヤルまたは本校HPよりお気軽にお問い合わせください。

筑波研究学園専門学校こども未来学科：茨城県土浦市上高津 1601
HP: www.tist.ac.jp TEL: 0120-508-298

社会福祉事業従事者研修のご案内

茨城県内の社会福祉施設・事業所等に従事する役職員の更なる資質向上を図るため、職種別・階層別にさまざまな研修を実施しています。

組織として、職員の資質向上・定着の観点からも、研修計画を立てて取り組みましょう。

研修システムページに、今年度の研修体系表及び月別予定表を掲載しており、今年度は44本の研修を開催予定です。

◎令和6年1月～3月開催の研修

1月	9日	ハラスメント研修 (アサーションスキル)	録画配信
	16日	社会福祉施設等保育 担当職員研修	ライブ配信
	16日	決算実務研修	録画配信
	23日	アンガーマネジメント研修 B	集合型

2月	9日	社会福祉施設等給食 担当職員研修	ライブ配信
	21日	虐待防止研修	ライブ配信
3月	5日	社会福祉施設等管理・ 代表者研修	ライブ配信

※研修により、申込期限や定員の設定があります。
※感染症や災害等の影響により、研修を中止や延期、
もしくは実施方法を変更する場合があります。

詳細は、「茨城県社協研修シ
ステム」ページ（右記 QR
コード）を御覧ください。



◀研修システム
QRコード

問 福祉人材・研修部 TEL:029-244-3755

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和5年度

ボランティア活動保険

商品/パンフレットは
こちらから
(ふくしの保険ホームページ)



保険金額・年間保険料（1名あたり）

団体割引20%適用済／過去の損害率による割増適用

保険金の種類		基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円		
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)		
	入院保険金日額	6,500円		
	手術 入院中の手術	65,000円		
	保険金 外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額	4,000円		
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外(*) 初日から補償		
賠償責任	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)		
	年間保険料	350円	500円	550円

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重 要>

- ◆基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課

TEL:03(3349)5137

受付時間：平日の9:00～17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667

受付時間：平日の9:30～17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

INFORMATION

お知らせ

ハローワークで出張相談会を行っています！

茨城県福祉人材センターでは、ハローワーク水戸とハローワーク土浦に協力いただき、月に1度出張相談会を行っています。

福祉のお仕事に関する相談に、専門の相談員が対応いたします。どなたでも御参加いただけるので、是非お気軽に御相談ください。

御相談には、事前に申込が必要です。会場となるハローワークに電話で予約してください。

会場・日程（1月～3月開催分）

●ハローワーク水戸

TEL：029-231-6221
（部門コード41番）

日程		
1月25日 (木)	2月22日 (木)	3月28日 (木)

●ハローワーク土浦

TEL：029-822-5124
（内線41番）

日程		
1月16日 (火)	2月20日 (火)	3月19日 (火)

相談時間（共通）

おひとりあたりの相談時間の目安は45分です。
予約の際に、下記の①～③の枠の中から、御希望の時間をお伝えください。
※各枠先着順となります。

①13:00～13:45

②13:45～14:30

③14:30～15:15

皆様の御参加をお待ちしています。

☎ 茨城県福祉人材センター
TEL：029-244-4544

お知らせ

福祉のお仕事就職相談会“初春”開催！！

福祉の仕事をお探しの方や興味・関心のある方、就職活動中の学生の皆様は、多くの法人・事業所から職場の雰囲気や具体的な仕事内容、採用条件等を詳しく聞くことができる機会です。

茨城県福祉人材センターや県内就職支援を実施している団体等の相談ブースも設けていますので、福祉のことを全く知らないという方も、就職が初めてという方も是非相談にお越しください。

開催日時



▲参加法人一覧や申込はコチラ

つくば

2/3
(土)

イースつくば

水戸

3/2
(土)

水戸市民会館

福祉のお仕事就職相談会のココがすごい！

1幅広い法人に出会える！

一度にたくさんの法人を知ることができるので、働きたいと思う法人にきっと出会えます。

2職場のリアルを聞ける！！

職場の疑問を解消する絶好の機会です。話を聞くことで職場のイメージが具体的に描けます。

3就職相談もできる！

これからのキャリアプラン等を相談して、少しずつ将来の方向性を定めましょう。

4各養成校の資料がある！

県内の介護職員初任者研修及び実務者研修実施機関のパンフレットをご用意しています。

5求職活動の実績になる！

雇用保険受給中の方で、各ブースで相談した方には『求職相談活動等参加証明書』を発行します。

☎ 茨城県福祉人材センター
TEL：029-244-4544

募集

県社協の会員を募集します！

県社協の趣旨・目的に御賛同いただける会員の方を広く募集しております。

会員の皆様からいただいた会費は、県内の地域福祉向上のために活用させていただきます。

■会員種別

・正会員

県社協の趣旨・目的に賛同する社会福祉施設及び社会福祉団体等

・賛助会員

県社協の趣旨・目的に賛同する個人または団体等

■会費

県社協の規定に従い所定の会費を納入いただきます。

■会員特典

- ①県社協が実施する「社会福祉事業従事者研修」について、1日の受講料が非会員に比べて2,000円安くなります。※一部、対象外の研修があります。
- ②民間社会福祉施設職員等退職手当支給制度に加入できます。

☎ 総務企画部

TEL：029-241-1133

お知らせ

新型コロナウイルス感染症の影響で生活福祉資金特例貸付を利用されている方へ

令和4年度に生活福祉資金特例貸付の決定を受けた方のうち、借受人本人及び借受人が属する世帯の世帯主いずれもが令和5年度の住民税（均等割・所得割、両方とも）が非課税の場合、償還（返済）免除の申請を行うことができます。

また、償還（返済）期間中に予定どおりの償還（返済）が難しい方は、状況をお伺いいたしますので、早めにお住いの市町村社会福祉協議会に御相談ください。

☎ 生活支援部

特例貸付コールセンター
TEL：029-297-6526

わかち合おうみんなの善意<令和5年7月～令和5年9月善意金等の預託と払い出し状況>(敬称略)

善意金

預託者名	金額(円)
野木 利三郎	40,000
合計	40,000



善意品

預託者名	善意品	払出先名
協同組合ネットいばらき 子供応援プロジェクト	パプリカ 75kg ・ ナス 100kg	県内市町村社会福祉協議会
公益財団法人 報知社会福祉事業団	プロ野球(巨人戦) 公式戦観戦チケット 5試合(計60名)	県内児童養護施設
株式会社祐月本店	市松人形 52体	県内社会福祉施設
OCTAVO 株式会社	JIUJIU サージカルマスク 63箱	県内市町村社会福祉協議会・社会福祉施設
いばらきコープ生活協同組合	子ども用紙おむつ 152個 ・ 大人用紙おむつ 72個 大人用尿取りパッド 99個 ・ 粉ミルク 14缶	県内市町村社会福祉協議会
福井県民生活協同組合	フェイスタオル 980枚 バスタオル 100枚 ハンドタオル 50枚	北茨城市・高萩市 災害ボランティアセンター
株式会社セブン・イレブン・ジャパン	食料品・日用品	県内市町村社会福祉協議会

使用済み切手・使用済みテレホンカード等

預託者名		
田原 純子	社会福祉法人 愛和会 特別養護老人ホーム 希望の森	常陽ボランティア倶楽部
茨城県平和大使協議会	一般財団法人 茨城県メディカルセンター	株式会社 平山ピアノ社
大和リース株式会社 水戸支店	株式会社デンソーソリューションズ 茨城支店	株式会社 皆葉自動車
株式会社 染谷工務店	浜崎 美樹	
茨城県福祉部障害福祉課、茨城県保健医療部健康推進課、茨城県福祉部子ども政策局青少年家庭課、茨城県福祉部長寿福祉課		
高萩市、水戸市、日立市、古河市、八千代町、常総市、龍ヶ崎市、坂東市、取手市、小美玉市、筑西市、ひたちなか市、土浦市、牛久市、かすみがうら市、北茨城市、石岡市、神栖市の各社会福祉協議会		



協同組合ネットいばらき 子供応援プロジェクト様



株式会社祐月本店様



(株)セブン・イレブン・ジャパン様

いばらきの社会福祉

Social Welfare of IBARAKI



発行者／社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

〒310-8586 茨城県水戸市千波町1918

TEL:029-241-1133(代)

FAX:029-241-1434

ホームページ <https://www.ibaraki-welfare.or.jp>Facebook <https://www.facebook.com/ibarakikenshakyo>E-Mail ibashakyo@ibaraki-welfare.or.jp

※本誌が不要な方は恐れ入りますがご連絡ください。送付を停止させていただきます。

なお、ホームページからダウンロードしてご覧いただくこともできます。